

- 問1 新潟県長岡市のように、12月や1月といった冬の時期に降水（降雪）量が増加して多くなる「日本海側の気候」において、冬に多くの降水をもたらす主な要因は何ですか。（2025年 埼玉県公立入試 類似）
1. 夏に発生した台風が日本海側に停滞し、冬まで湿った空気を供給し続けるため。
 2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った風が、直接吹き込むため。
 3. 北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、山脈にぶつかって上昇するため。
 4. 南東の季節風が山脈を越える際にフöhn現象を引き起こし、雲を発生させるため。
- 問2 日本の気候区分において、冬に北西から吹く季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、奥羽山脈などの山脈にぶつかって、日本海側に雪や雨の降水量が多くなる仕組みを説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
1. ユーラシア大陸からの冷たく乾いた空気が、日本海の上空で湿気を得て、上昇気流となって山脈の斜面で雪を降らせる。
 2. 太平洋からの湿った空気が日本海に流れ込み、山脈を越える際に急激に冷却されることで大量の雪を降らせる。
 3. 赤道付近からの暖かくて湿った季節風が、冬に勢力を強めて日本海を北上し、山脈に遮られることで積雪をもたらす。
 4. オホーツク海からの冷たく湿った北東の風が、直接日本海側の地域に吹き込み、冬の間中、曇りや雨の日を多くする。
- 問3 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から「やませ」と呼ばれる冷たく湿った北東の風が吹き込むことがあります。例えば1993年の仙台市では、7月の平均気温が平年を大きく下回る20度未満となり、これに連動して水稻（米）の収穫量が極端に落ち込みました。このような、夏の低温や日照不足によって農作物の生育が阻害される気象災害を何といいますか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 冷害
 2. 干害
 3. 塩害
 4. 風水害
- 問4 最上川や木曽川といった日本の主要な河川を、アマゾン川やセーヌ川などの世界の河川と比較したとき、日本の河川の特徴として最も適切なものはどれですか。なお、比較の条件として、河口からの距離と標高の関係に着目するものとします。（2023年 愛媛県公立入試 類似）
1. 標高の高い山地が多いため、川の長さが非常に長く、勾配が急である
 2. 平野部が広大であるため、川の長さが長く、流れが非常に緩やかである
 3. 山地から海岸までの距離が短いため、川の長さが短く、勾配が急である
 4. 山地から海岸までの距離が短いため、川の長さが短く、流れが緩やかである
- 問5 日本アルプスの東側に位置し、本州を南北に縦断するように分布する「フォッサマグナ」の性質について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むことで形成された、太平洋の海底に続く細長い溝状の地形である。
 2. 火山活動によって噴出された火山灰が厚く堆積してできた、関東地方に広がる赤土の層のことである。
 3. 本州を地質的に東西に分ける巨大な地溝帯であり、その境界を境に岩石や地層の重なり方が大きく異なっている。
 4. プレートどうしがぶつかり合う強い力によって押し曲げられてできた、日本を代表する険しい山脈の総称である。
- 問6 山梨県の甲府盆地などに見られる扇状地では、古くからブドウや桃などの果樹栽培が盛んに行われてきました。この地形において、稲作（水田）よりも果樹栽培が適している理由として、地質の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 高知県公立入試 類似）
1. 土砂に砂や小石が多く含まれており、水はけが非常に良いため。
 2. 地下水位が非常に高く、常に地表が湿った状態にあるため。
 3. 標高が高く冷涼な気候であり、稲の成長には適さないため。
 4. 川の最下流部に位置しており、泥や粘土が厚く堆積しているため。
- 問7 日本列島の地形的な特徴とその背景について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2018年 佐賀県公立入試 類似）
1. 古期造山帯に属しており、長期間の浸食を受けたなどらかな山地が列島の大部分を占めている。
 2. 環太平洋造山帯に位置しており、地殻変動が活発なため、火山が多く地震も頻繁に起こる。
 3. アルプス・ヒマラヤ造山帯の延長線上に位置するため、8000メートル級の高峰が連なっている。
 4. 大陸の安定陸塊の一部であるため、地震の発生は極めて稀であり、古い地層が露出している。
- 問8 日本周辺を宇宙から観測し、気象状況を把握するために用いられる「気象衛星画像」に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 島根県公立入試 類似）
1. 高度ごとの風向や風速を測定し、日本上空を流れる偏西風の影響を分析する。
 2. 地上の気温が等しい地点を線で結ぶことで、季節ごとの気温の分布や推移を把握する。
 3. 地上の各地点で観測された気圧が等しい地点を線で結び、高気圧や低気圧の分布を捉える。
 4. 人工衛星から撮影された雲の分布を捉えることで、気圧配置や天候の推移を把握する。
- 問9 日本の気候区分の一つである「瀬戸内の気候」において、香川県高松市のように年間降水量が1,150.1ミリ程度と少なく、年間を通じて温暖で晴天が多い理由として、地形的要因から説明したものとして最も適切なものはどれか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）
1. 年間を通じて乾燥した小笠原気団の勢力下にあるため、雨雲が停滞しにくいから。
 2. 北側の中国山地と南側の四国山地によって、夏・冬それぞれの季節風が遮られるため。
 3. 寒流である親潮が近くを流れているため、上昇気流が発生しにくく雲が発達しないため。
 4. 冬に北西から吹く湿った季節風が、関門海峡を抜けて直接流れ込むのを防いでいるから。
- 問10 熊本県などの九州地方と、新潟県などの日本海側に位置する地域の冬（12月～2月）の気候を比較したとき、新潟県側で日照時間が著しく少なくなる理由として、地理的背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）
1. 山地を越えて吹き降りるフöhn現象が発生しやすく、地表付近の気温が上がって雲が発達しやすいため
 2. 太平洋から吹き込む湿った季節風が、高い山々を越える際に水分を失い、乾燥した空気が流れ込むため
 3. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、日本海で水蒸気を蓄えて雪や雲をもたらすため
 4. 暖流である日本海流（黒潮）の影響を強く受け、冬の時期に海上で発達した低気圧が停滞しやすいため
- 問11 日本の国土面積は約38万平方キロメートルですが、その地形的特徴をまとめた統計において、山地と丘陵地が占める割合として最も適切なものはどれですか。（2023年 山形県公立入試 類似）
1. 約4分の3
 2. 約4分の1
 3. 約2分の1
 4. 約10分の9
- 問12 地形図の時系列比較において、河川の河口付近が直線的に埋め立てられ、海上に橋が建設されるといった変化が見られる場合、その背景にある目的や社会的な仕組みについて述べた文として最も適切なものはどれですか。（2021年 京都府公立入試 類似）
1. 河川から流入する土砂を効率よく田畑へ供給し、農業生産力を向上させるための大規模な土木事業として行うため
 2. 土地不足を解消して新たな都市機能を確保するとともに、交通インフラを整備して地域間の移動や物流の利便性を高めるため
 3. 過疎化対策として、あえて居住不可能な人工島を作り、観光資源としての景観維持のみを目的として整備するため
 4. 公的機関である消防署や警察署を海上に孤立させて配置することで、都市部に与える騒音被害を最小限に抑えるため